

**【オンワード×東京国際工科専門職大学】
産学連携デジタル人材育成プロジェクトの最終報告会を開催
～学生が9カ月間で考案したメタバース空間をプレゼン、意見交換を実施～**

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、2022年4月から、今後のデジタル社会に対応したプロフェッショナル人材を育成し、産業界へ送り出すことを目的に、東京国際工科専門職大学（本部：東京都新宿区 学長：吉川 弘之）の「地域共創デザイン実習プロジェクト」に参画しています。

この度、11月16日（水）に、最終報告会として、本プロジェクトの課題である「ファッション×メタバース」をテーマにした学生の事業企画案のプレゼン大会を行いました。プレゼン大会には、学生と当社グループのオンワードデジタルラボ代表取締役社長の西森と社員5名が参加し、意見交換会も行われました。参加した社員からは「学生のファッションに対する考えに触れることができ、いい機会になった」「Z世代の学生たちのプレゼンから、メタバース空間を未来のビジネスに発展させる可能性を感じた」などの声が聞かれ、たいへん有意義な時間を過ごしました。

本プロジェクトは、2023年度に向けて、第二弾も予定しています。

今後もオンワードグループは、地域社会との共創や、社会貢献活動、文化・芸術・教育への取り組みを通じて、さまざまなコミュニティと共に成長し、共生していける企業を目指します。



■「地域共創デザイン実習プロジェクト」とは

学生たちは、各企業・自治体から地域共創におけるテーマが与えられ、資料収集や調査分析・現地調査をふまえ、問題が発生する仕組みや原因について考察を行い、その上で具体的な課題解決の方法を検討。週1度実習授業を実施し、会社訪問や中間報告会を挟み、企画提案とプロトタイプを含む最終発表を行う、9ヵ月間の長期プロジェクトです。

■プレゼン大会の様子

テーマは「ファッション×メタバース」、学生自身が最も楽しめる事業を提案しました。

1 チーム目は、アパレル業界の課題と顧客の課題を同時に解決する事業を提案。実際にアバターがメタバース空間上の様々な世界で遊ぶことができる様子をモニターで映し出し、プレゼンを行いました。

もう1チームは、ECと実店舗におけるデメリットに着目し、客観的に自分を見る仮想試着室体験ができる事業を提案しました。利用する際のサイトを制作し、実際にサイトへアクセスができる体験型のプレゼンを行いました。

オンワード社員からは、「仮想空間と現実のファッションの使い分けかたは？」「アバターの顔は誰で設定しますか？」「このサービスでファッションの楽しみ方がどう変わりますか？」などの質問が挙がり、学生たちの意見や思いを聞くことで、相互に理解を深める時間もつくることができました。



【参考】産学連携でデジタル社会に対応したプロフェッショナル人材を育成

「ファッション×メタバース」をテーマに事業企画を考案する単位認定授業を開始（4月8日発表プレスリリース）

<https://www.onward-hd.co.jp/release/2022/20220408.html>

産学連携でデジタル人材を育成する単位認定授業のガイダンスに、

オンワードデジタルラボ社長の西森が登壇（5月10日発表プレスリリース）

https://www.onward-hd.co.jp/release/2022/20220510_1.html